

《平成21年度》

1 設定値達成状況

項目 (単位%)	平成21年度		達成状況
	予算	決算	
医業収支比率	92.7	85.7	
経常収支比率	95.8	98.6	○
給与費対医業収益比率	52.6	58.4	
薬品費対医業収益比率	22.6	25.7	
診療材料費対医業収益比率	10.5	10.3	○

  

入院	稼働病床利用率 (%)	82.6	75.0	
	1日平均患者数 (人)	400.0	363.0	
	1日当り診療単価 (円)	45,300	43,989	
外来	紹介率 (%)	60.0	45.3	
	1日平均患者数 (人)	1,090.0	916.3	
	1日当り診療単価 (円)	15,200	17,095	○

【評価】

一次計画の初年度である平成21年度は、設定値を病院事業会計当初予算額とした。電子カルテシステムの導入時の影響による一時的な患者数の減少があったものの、SPD導入の効果により医業収益に対する診療材料費は抑制され、設定値を達成した。なお、経常収支比率は市の一般会計からの補助金により設定値を超えたが、実質収支は大幅な赤字となり、次年度以降より一層の収支改善に努めていく。

2 施策の達成状況

【患者サービスの向上】

(1) 市民及び患者満足度の向上

① 意識調査、満足度調査の実施

患者アンケート調査の実施

《実施期間》H22. 2. 1～3. 11

《対象》入院患者379人

《回収》210人（回収率58.2%）

《内容》当院選択の情報源、医師からの説明の状況・理解度、患者満足度等

③ 外来待ち時間の短縮

電子カルテシステムのデータを利用して、外来待ち時間調査を実施。機能改善委員会で各科の待ち時間等の分析・検討を行った。

(2) 患者さんの利便性・快適性の向上

① 快適な療養環境の維持

院内2か所に食事スペースを設置した。また、患者の待ち時間対策の一環として外来に図書を配置した。

③ 相談機能の充実

総合相談センターにおいて、看護相談、よろず相談、医療福祉相談等の相談機能を充実した。

(3) 情報発信の推進

① ウェブサイトの充実

6月にリニューアルを行い、市民のニーズに応えられるウェブサイトの提供に努めた。

② 病院広報誌の発行

院内行事、外来診療日程及び受診時のお知らせ等の情報を発信するため、病院だよりを発行した。（年間4回、全戸配布）

## 【良質な医療の提供】

### (1) 医療の質の向上

#### ① 電子カルテシステムの導入

5月にオーダリングシステムから電子カルテシステムへ移行した。X線画像や検査データも電子データ化され、検索性が増し、迅速な診療情報を得ることが可能となった。また、医師・看護師等による診療情報の共有化によりチーム医療の推進を図った。

#### ② 医療研修体制の強化

富士市立中央病院臨床研修プログラムを設け、臨床研修医の確保を図った。

#### ③ 診断群分類包括評価(DPC)への移行

7月から入院医療費が出来高制から診断群分類包括評価(DPC)へ移行した。手術などの一部の出来高部分を除き、入院医療費が疾患ごとに決められた額(包括支払)となり、医療内容の透明性を高めた。

### (2) 安心・安全な医療の提供

#### ① 医療安全管理体制の充実

医療安全管理委員会により院内のインシデント・アクシデント事例が集約され、今後の対応策などが検討された。

#### ② クリニカルパスの充実

クリニカルパス委員会において、院内標準医療計画書を作成するための必要な方策の研究、及びクリニカルパスの推進、評価を行った。

### (3) 人材の育成・確保

#### ① 医師の確保対策の強化

4月から医療人材室を設置し、関連大学病院等の情報収集を行い、医師確保対策に努めた。

## 【経営基盤の強化】

### (2) 収入の確保

#### ③ 未収金対策の実施

患者の利便性の向上と未収金対策として5月よりクレジットカードによる支払を導入した。

#### ④ その他

中央病院ウェブサイト上でのバナー広告を実施した。

(1 枠5,000円) 192,000円 (7社)

### (3) 費用抑制対策

#### ① 診療材料費の抑制

平成20年8月からSPD業務を導入し、在庫を削減した。

## 【評価】

- 5月に電子カルテシステムが導入され、診療の効率化が図られた。また、システムのデータを利用して待ち時間調査を実施することができた。待ち時間の詳細なデータ取得が可能となることから、調査内容を分析し、待ち時間短縮対策を検討していきたい。
- 7月からDPCが開始され、入院診療は疾患ごとによる包括払いとなり、医療費の透明性の確保が図られた。医事情報に専門的知識を持つ診療情報管理士の配置について検討し、来年度の採用を決定した。DPCを活用した経営分析についても実施していく。
- ウェブサイトリニューアルし、バナー広告を開始するなど収益の確保に繋げた。今後は「病院だより」についても広告掲載が可能かを検討する。また、病院の情報を広くPRするため、来年度から公開講座等の計画的な開催を検討していく。
- 職員の接遇向上対策として、全職員を対象とした接遇研修の実施に向けて内容等を検討した。来年度は各所属と調整を図りながら研修を開催する。